

## 日本医療研究開発機構(AMED)への寄附について

アステラス製薬株式会社(本社:東京、代表取締役社長 CEO:安川 健司、以下「アステラス製薬」)は、国立研究開発法人日本医療研究開発機構(以下、AMED)が2019年12月10日にホームページにて公表した研究奨励金制度(スカラーシップ)[創薬関連分野](以下、本制度)の趣旨に賛同し、AMEDへの寄附を行います。

AMEDにより新たに創設された本制度は、寄附などの外部資金を活用し、創薬関連分野における若手研究者の育成・海外研鑽を積む機会拡充の支援を目的としています。これは、当社が目指す社会貢献活動\*の方向性と一致し、医学振興をはじめとしたライフサイエンスの発展に貢献するものであることから、このたび寄附を決定いたしました。

なお、これまで医学振興への貢献を目的に当社が行ってきた奨学寄附については、2019年度をもって終了します。

アステラス製薬は今後、より一層の透明性・公正性を確保しつつ、アカデミアによる研究活動を継続的に支援することにより、医学振興に貢献してまいります。

以上

\*アステラス製薬は2016年4月に、「[社会貢献活動に関するポリシー](#)」を制定・公表し、世界中の患者さんや社会にとって長期的に有益となる、戦略的かつ効果的な社会貢献活動を行うことを宣言しています。この基本的な考え方に則り、以下の3つを重点的に投資する優先分野として、社会貢献活動に取り組んでいます。

1. 保健医療へのアクセス(Access to Health)課題の解決
2. 医学振興への貢献
3. 慈善活動/コミュニティー振興

### **アステラス製薬株式会社について**

アステラス製薬は、東京に本社を置き、「先端・信頼の医薬で、世界の人々の健康に貢献する」ことを経営理念に掲げる製薬企業です。アステラス製薬の詳細については、(<https://www.astellas.com/jp/>)をご覧ください。

### **注意事項**

このプレスリリースに記載されている現在の計画、予想、戦略、想定に関する記述およびその他の過去の事実ではない記述は、アステラス製薬の業績等に関する将来の見通しです。これらの記述は経営陣の現在入手可能な情報に基づく見積りや想定によるものであり、既知および未知のリスクと不確実な要素を含んでいます。さまざまな要因によって、これら将来の見通しは実際の結果と大きく異なる可能性があります。その要因としては、(i) 医薬品市場における事業環境の変化および関係法規制の改正、(ii) 為替レートの変動、(iii) 新製品発売の遅延、(iv) 新製品および既存品の販売活動において期待した成果を得られない可能性、(v) 競争力のある新薬を継続的に生み出すことができない可能性、(vi) 第三者による知的財産の侵害等がありますが、これらに限定されるものではありません。また、このプレスリリースに含まれている医薬品(開発中のものを含む)に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

---

### **お問い合わせ先:**

アステラス製薬株式会社  
広報部

TEL: 03-3244-3201 FAX: 03-5201-7473